

被子植物 双子葉類

ナス科

被子植物 単子葉類

裸子植物のなかま

種子でふえない植物のなかま

トマト



トマトは、野菜として(1)の部分
が食用とされています。ふつう(2)
に種子をまき、(3)ごろ収かくしま
す。ふつうのトマトより小さな実をつ
けるミニトマトや、細長い形をしたト
マトもあります。

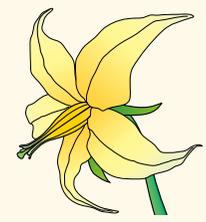


成長のようす

トマトは(4)です。(5)に種子が
発芽すると成長し、(6)ごろ花をさ
かせます。そのあと実をつけると、
やがてかれます。

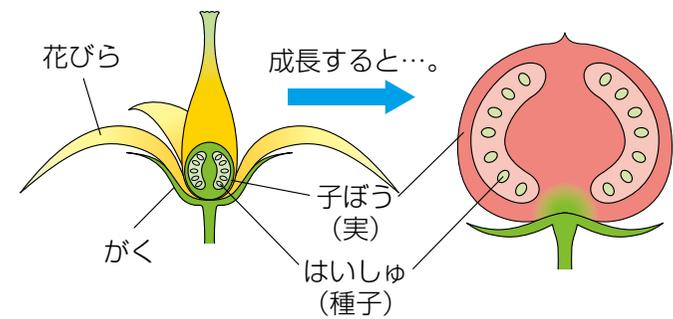
+プラスワン

トマトの花は黄色で、
ジャガイモやナスの花
よりも花びらの形が細
くなっています。



実のつくり

わたしたちは、トマトの
(7)が成長した部分を食べ
ています。



+プラスワン

トマトの実には、種子が入った部屋がいくつかありますが、その数は場合によってちがいます。種子はゼリー状のものに包まれています。

ナス



ナスは、野菜として(8)の部分が食用とされています。ふつう(9)に種子を
まき、(10)ごろ収かくします。ナスは(11)です。

ナスの花は(12)です。花びらは根元でくっついていて、ナス科のほかの植
物も、ナスの花に似たつくりの花をさかせます。



ナスの花



+プラスワン

ナスやトマト、ピーマン、
キュウリなどは、おもに夏
に収かくされるため、「夏
野菜」といわれることがあ
ります。

ピーマン



ピーマンは、野菜として(13)の部分が食用とされ
ています。ふつう(14)に種子をまき、(15)ごろ収
かくします。ピーマンは(16)です。



+プラスワン

ピーマンの花は白色です。

+プラスワン

トウガラシやシトウガラシ(ししとう)、パプリカの実も、ピーマンと似たつくりをしています。

サクラ (ソメイヨシノ)



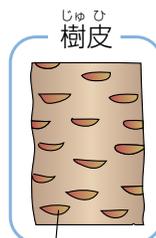
サクラは、学校や公園、道沿いなどいろいろな場所に植えられている樹木で、(17)になると花をさかせます。代表的な品種は「(18)」で、サクラの開花予想はソメイヨシノが基準になっています。



サクラの花や葉は食用とされることがあります。サクラの実(み)はふつう、花を觀賞する品種では大きくなり、食用にはされません。

幹や葉のようす

サクラの幹には、ところどころに(19)の模様があります。葉のふちにはするどい切れこみがあり、両面には毛が生えています。



横長の模様

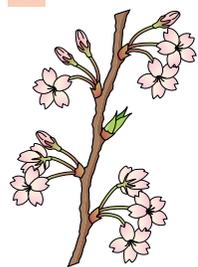


成長のようす

(ソメイヨシノの場合)

サクラは(20)で、葉は(21)になると(22)し、やがて落ちます。葉が落ちるころには(23)ができており、(24)になるとまず(25)がさきます。1週間ほどで花びらが散ると、葉が出てきます。(26)ごろには(27)ができます。

春



花がさく。

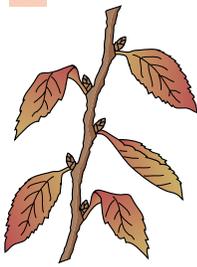
夏



実

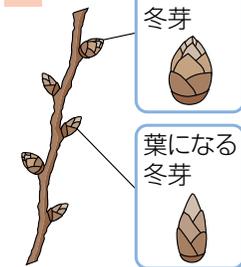
葉がしげり、実ができる。

秋



葉が紅葉する。芽ができていのがわかる。

冬



花になる冬芽

葉になる冬芽

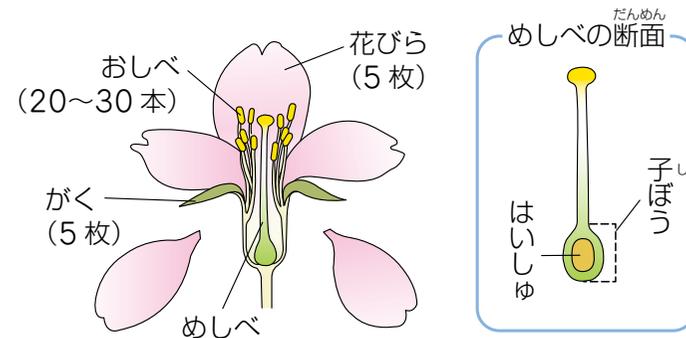
葉がすべて落ちる。

花のつくり



(ソメイヨシノの場合)

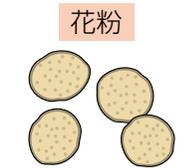
サクラの花は、花びらが1枚1枚分かれる(28)です。ウメやモモなどの花のつくりと似ていますが、サクラの花びらの先は割れています。



受粉の仕方



サクラの花は、昆虫に花粉を運んでもらう(29)です。



種子の運ばれ方

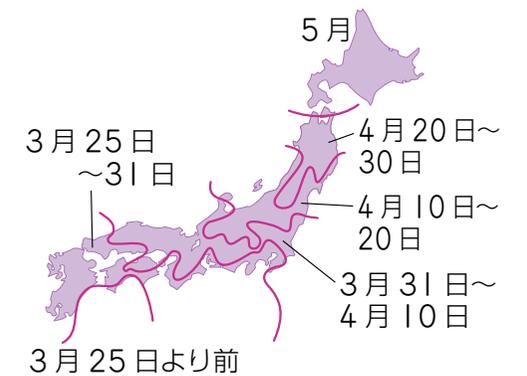


サクラは、実がトリなどの動物に食べられます。その動物が別の場所に移動してふんをすると、そこに種子が落ちます。(30)に実を食べてもらうことで種子を運ぶのです。

開花の時期



日本では、サクラはあたたかい(31)のほうの地域から(32)のほうの地域へと開花していきます。山の上などは寒いため、山のふもとより開花がおそくなります。



(注意) 本ドリルでは入試問題を掲載していません。